



作文1部

## 文部科学大臣賞

### ずっとまもりたいじまんのけしき

香川県 丸亀市立郡家小学校一年  
香川 葵斗

「まどからみえるけしき、さいこうだね。」

ぼくのいえにある一ばんおおきなまどのむこうには、おじいちゃんがおこめをそだてているたんぽがひろがっています。いえにあそびにきてくれたおきやくさんは、みんなこのけしきをほめてくれます。おじいちゃんがいつしうけんめいそだてているたんぽがみえるけしきは、ぼくのじまんです。

まどからは、たんぽではたらいているおじいちゃんのすがたもよくみえます。あついひもあめのひも、くさぬきをしたり、みずのかんりをしたり、たんぽのおせわをしています。なんかげつもおせわをするのは、たいへんそうです。でも、そのおかげで、あまくておいしいおこめができるのだと思います。

まどからみえるたんぽのけしきは、どんどんかわっていきます。たうえをするまえにみずをいれたたんぽは、おおきなプールみたいにみえます。みずのなかには、カブトエビやおたまじやくしがきもちよさそうにおいでいます。きかいで、つちをいたらにしたら、たうえをします。うえたばかりのなえは、ちいさくてほないので、たんぽにたくさんすきまがみえます。す

「ぼくにできるたんぽのてつだいあるかな。」